

口腔機能発達学

学年	学期	科目責任者
3	前学期	野本たかと
科目ナンバリング	C-7-④-I-14	
単位数	2	
学習目標 (GIO)	口腔には咀嚼, 摂食嚥下, 呼吸, 言語, 顔貌形成, 感情表現から消化, 免疫応答への関与に至るまで多くの役割が存在しており, 全身の健康状態と密接な関係がある。口腔機能は, 胎生期を経て出生してから乳児期, 幼児期, 成人期に至るまで, 学習によって発達・変化し, 獲得され, そして, 老年期には減退していく。この過程は, 全身状態や環境などの様々な因子により, その様相は異なる。そして, これらの過程において何らかの問題が生じた場合には, 包括的な支援を行うことが必要となる。したがって, ウェルビーイングを担う医療人である歯科衛生士の社会的役割として, ライフサイクルを通しての口腔機能の維持管理があることを十分に認識し, 遂行に必要な知識および技術, 態度を修得する。	
担当教員	野本たかと, 三田村佐智代, 遠藤眞美, 江口采花	
教科書	必要に応じて資料を配布する。	
参考図書	授業時に参考図書を示す。	
評価方法 (EV)	平常試験と定期試験を最終評価とする。平常試験, 定期試験ともに各講義担当教員が出題し, 配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。最終評価が60点に達しない場合には, 全範囲における再試験を行う。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	口腔の健康はウェルビーイングに関連しており, 歯科衛生士の担うべき事は多い。口腔機能は人のライフサイクルを通して生命の維持から生活の質にいたるまでの幅広い範囲に影響を及ぼしていることを理解し, 歯科衛生士として将来, 口腔機能の適切な管理を通して健康の維持・増進に寄与できるような人材となれるように受講してください。 オフィスアワー: 月曜日～金曜日 9:00～17:00	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/3	口腔機能発達概論	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 人間発達と口腔機能発達の概念について知識を修得する 【行動目標 (SBOs)】 1. 発達の概念および理論について理解する 2. ライフサイクルから見た口腔の機能についてその発達と変化について説明できる 3. 口腔機能の全身への関与について説明できる 4. 脳神経の発達と口腔機能との関連性を説明できる 5. ライフサイクルから見た口腔感覚の発達と変化について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 発達の概念について 復習時間: 60分, 復習内容: 口腔機能の発達と変化について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義	★野本

<p>第2回 4/10</p>	<p>口腔機能に関わる解剖と生理学</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          口腔機能発達に関連する解剖および生理学的特徴について理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 口腔, 鼻腔, 咽頭, 喉頭, 食道の構造について説明できる          2. 口腔機能に関わる筋肉群の構造および機能について説明できる          3. 摂食嚥下のメカニズムについて説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間: 60分, 予習内容: 頭頸部の解剖について          復習時間: 30分, 復習内容: 摂食嚥下に関わる解剖およびメカニズム  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          なし  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義</p>	<p>★三田村</p>
<p>第3回 4/17</p>	<p>口腔機能発達とその障害①～胎生期から乳児期(前期)～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          胎生期から乳児期までの口腔機能の発達および障害について理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 胎生期における口腔機能の発達および器官形態について説明できる          2. 乳児期の原始反射について説明できる          3. 哺乳に必要な口腔領域の原始反射について説明できる          4. 哺乳に必要な口腔領域の器官の特徴について説明できる          5. 胎生期から乳児期までの全身と口腔機能の発達の関連について説明できる          6. 胎生期から乳児期までの障害について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間: 60分, 予習内容: 哺乳について調べる          復習時間: 60分, 復習内容: 胎生期から乳児期までの口腔機能について  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          あり  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義</p>	<p>★遠藤</p>
<p>第4回 4/24</p>	<p>口腔機能発達とその障害②～乳児期(後期)の正常発達～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          乳児期(後期)の口腔機能の発達について理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 乳児期(後期)における離乳の開始時期について説明できる          2. 離乳開始時期から離乳完了期までの口腔機能の発達について説明できる          3. 離乳開始時期から離乳完了期までの口腔の器官形態の変化について説明できる          4. 離乳開始時期から離乳完了期までの全身と口腔機能の発達の関連について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間: 60分, 予習内容: 離乳について調べる          復習時間: 60分, 復習内容: 離乳開始期から離乳完了期までの発達について  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          なし  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義</p>	<p>★江口(野本)</p>

<p>第5回 5/8</p>	<p>口腔機能とその障害③～幼児期から学童期の正常発達～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          幼児期から学童期の口腔機能の正常発達と障害について理解する  <b>【行動目標 (SB0s)】</b>          1. 幼児期から学童期における食事の自立について説明できる          2. 食事の自立における眼と手と口の協調について説明できる          3. 食事の自立における全身と口腔機能の発達の関連について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分，予習内容：食事の自立について調べる          復習時間：60分，復習内容：食事の自立の発達について  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          なし  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義</p>	<p>★三田村</p>
<p>第6回 5/15</p>	<p>口腔機能発達とその障害④～乳児期(後期)から幼児期の障害～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          乳児期(後期)から幼児期の口腔機能の障害について理解する  <b>【行動目標 (SB0s)】</b>          1. 口腔機能の障害の原因疾患について説明できる          2. 離乳における摂食嚥下機能障害について説明できる          3. 離乳における摂食嚥下機能障害と食環境との関連について説明できる          4. 離乳における摂食嚥下機能障害と食内容との関連について説明できる          5. 食事の自立における摂食嚥下障害について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分，予習内容：離乳期における摂食嚥下障害について調べる          復習時間：60分，復習内容：離乳期および食事の自立における摂食嚥下障害について  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          なし  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義</p>	<p>★野本</p>
<p>第7回 5/22</p>	<p>中間試験 解説講義</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          第1回から第6回までの講義内容についての知識を総復習し，修得の有無を確認する  <b>【行動目標 (SB0s)】</b>          第1回から第6回までの講義内容についての知識を総復習する  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：180分，予習内容：第1回から第6回までの講義内容          復習時間：60分，復習内容：平常試験にて理解ができていなかった項目について  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          なし  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義</p>	<p>★野本 ★三田村 ★遠藤 ★江口</p>

<p>第8回 5/29</p>	<p>口腔機能とその障害⑤～成人期から老年期における正常機能と障害～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>  成人期から老年期の口腔機能の特徴と障害について理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>  1. 成人期から老年期における身体、運動機能、認知機能、社会性の変化について説明できる  2. 成人期から老年期における口腔機能の変化について説明できる  3. 成人期から老年期における栄養障害について説明できる  4. 成人期から老年期における食の問題について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>  予習時間：60分、予習内容：成人期から老年期における口腔機能の変化について調べる  復習時間：60分、復習内容：成人期から老年期における口腔機能の特徴について  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>  あり  <b>【学習方略 (LS)】</b>  講義</p>	<p>★遠藤</p>
<p>第9回 6/5</p>	<p>口腔機能とその障害⑥～言語発達とその障害</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>  口腔機能の1つである言語の正常発達と障害について理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>  1. 音声言語コミュニケーションのメカニズムについて説明できる  2. 音声言語の正常発達について説明できる  3. 音声言語の障害について説明できる  4. 音声言語のトレーニングについて説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>  予習時間：60分、予習内容：音声言語のメカニズムについて調べる  復習時間：60分、復習内容：音声言語の発達について  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>  なし  <b>【学習方略 (LS)】</b>  講義</p>	<p>★三田村</p>
<p>第10回 6/12</p>	<p>口腔機能の維持・管理①口腔ケア概論</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>  口腔機能の維持・管理の重要性および概念を理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>  1. 口腔ケアの定義および意義について説明できる  2. 口腔ケアの効果について説明できる  3. 口腔に影響を与える薬剤について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>  予習時間：60分、予習内容：口腔ケアの意義について調べる  復習時間：60分、復習内容：口腔機能の維持・管理について  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>  あり  <b>【学習方略 (LS)】</b>  講義</p>	<p>★三田村</p>

<p>第11回 6/19</p>	<p>口腔機能の維持・管理②適切な食事介助</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          口腔機能の維持・管理に必要な食事場面での適切な介助の方法について理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 食事介助における姿勢の調整について説明できる          2. 食事介助における食具の選択について説明できる          3. 食事介助方法について説明できる          4. 食事介助が実施できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分，予習内容：食事介助の注意点について調べる          復習時間：60分，復習内容：食事介助方法について  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          あり  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義</p>	<p>★野本</p>
<p>第12回 6/26</p>	<p>口腔機能の維持・管理③機能的な口腔ケア</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          口腔機能の維持・管理に必要な機能的な口腔ケアについて理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 機能的口腔ケアの意義について説明できる          2. 機能的口腔ケアに必要なアセスメントができる          3. 機能的口腔ケアの方法について説明できる          4. 機能的口腔ケアが実施できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分，予習内容：機能的口腔ケアについて調べる          復習時間：60分，復習内容：機能的口腔ケアについて  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          あり  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義</p>	<p>★遠藤</p>
<p>第13回 7/3</p>	<p>口腔機能の維持・管理④器質的な口腔ケア</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          口腔機能の維持管理に必要な器質的な口腔ケアについて理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 器質的口腔ケアの意義について説明できる          2. 器質的口腔ケアに必要なアセスメントができる          3. 器質的口腔ケアに必要な道具について説明できる          4. 器質的口腔ケアの方法について説明できる          5. 器質的口腔ケアが実施できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分，予習内容：器質的口腔ケアの方法についてしらべる          復習時間：60分，復習内容：器質的口腔ケアの方法について  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          あり  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義</p>	<p>★遠藤</p>

<p>第14回 7/10</p>	<p>口腔機能の維持・管理⑤集団における口腔ケア</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          集団における口腔ケアについて理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 集団における口腔ケアの意義について説明できる          2. 集団における口腔ケアにおけるアセスメントについて説明できる          3. 集団における口腔ケアの方法について説明できる          4. 集団における口腔ケアが実施できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分，予習内容：集団における口腔ケアの方法について調べる          復習時間：60分，復習内容：集団における口腔ケアについて  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          あり  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義</p>	<p>★遠藤</p>
<p>第15回 7/17</p>	<p>口腔機能の維持・管理における歯科衛生士の役割</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          地域における歯科衛生士による口腔機能の維持・管理について理解し，支援方法を理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 口腔機能の維持・管理におけるリスクについて説明できる          2. ライフサイクルを通じた生活環境および社会環境について説明できる          3. 口腔機能の維持・管理に携わる業種について説明できる          4. 口腔機能の維持・管理における医療連携の重要性について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分，予習内容：口腔機能の維持・管理における歯科衛生士の役割について調べる          復習時間：60分，復習内容：口腔機能の維持・管理における歯科衛生士の役割について  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          なし  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義</p>	<p>★野本</p>